

報道関係 各位

川崎医科大学附属病院 緩和ケアセンター

「ホスピス緩和ケア週間イベント」開催

ひろがる緩和ケア ～いつでも・どこでも・すべての病気に～

このたび、川崎医科大学附属病院では、「ホスピス緩和ケア週間イベント」を開催します。

緩和ケアは、病気や治療に伴う身体的・精神的・社会的苦痛を和らげ、その人らしい生活を支える包括的ケアです。従来は「がんと診断された時から受けられる支援」として広がってきましたが、対象はがんに限りません。心不全、腎不全、呼吸器疾患や神経難病などにおいても、病気や治療に伴うさまざまな「苦痛」を和らげ、その人らしい生活を支えることが大切な役割となっています。しかし、緩和ケアに対する誤解として「終末期に受けるもの」、また、がん以外の疾患も対象であることは十分に知られていません。そのため、つらい症状や不安を一人で抱え込み、我慢してしまう患者さんやご家族も少なくありません。

本イベントは、当院の緩和ケアの支援体制や取り組みを紹介し、患者さんやご家族、地域住民、医療従事者の皆様に緩和ケアへの理解を深めていただくことを目的としています。

日 時 : 10月6日(火) 11:00～14:00、7日(水) 11:00～14:30

会 場 : 川崎医科大学附属病院 本館2階セミナー室(倉敷市松島577)

対 象 : 入院・外来患者および家族、一般市民、医療従事者

内 容 : (1) 情報コーナー(パネル展示)

- ・「診断直後から受けられる 緩和ケア」事例紹介
- ・緩和ケア対象の広がり(心不全、腎不全、呼吸器疾患)
- ・当院の緩和ケアチーム活動紹介
- ・がん相談支援センター紹介
- ・緩和ケア外来、療養支援外来紹介
- ・がんサロン紹介

(2) 情報コーナー(ケア製品展示)

- ・栄養補助食品
- ・口腔ケア製品
- ・パンフレット等の配布
- ・アピアランスケア(ウィッグ、ネイルケア等)

(3) 個別相談コーナー(希望者)

- ・「診断直後からの緩和ケア」「がん以外の緩和ケア」について相談対応
- ・患者、家族、一般市民からの質問受付

(4) がんサロン(対象:がん患者、家族)

10月7日(水)13:30～14:30 ※うち15分間は管理栄養士によるミニ講座を開催

※事前申込不要。参加無料。詳細は別紙チラシをご参照ください。

「ホスピス緩和ケア週間」とは

日本ホスピス緩和ケア協会では、「世界ホスピス緩和ケアデー(World Hospice & Palliative Care Day)」である第2土曜日を最終日とした一週間を、「ホスピス緩和ケア週間」とし、全国の会員、関連団体へ呼び掛け、イベント開催などを通して啓発普及活動を進めています。今年で21回目の開催となります。(日本ホスピス緩和ケア協会 Web サイトより抜粋)

<問合せ先>

川崎医科大附属病院

緩和ケアセンター

Tel:086-462-1111(代)

(内線:22633)

ひろがる緩和ケア

～ いつでも・どこでも・すべての病気に～

「緩和ケア」と聞くと、がんの終末期をイメージする方も多いかもかもしれません。

現在、緩和ケアの対象は、「がん」だけでなく、「心不全」

「腎不全」「呼吸器の病気」などにも広がっています。

痛みや不安などのつらい症状をやわらげることは、その人らしく生活していくための力になります。

パネル展示

当院の緩和ケアについて



10月7日

13:30～14:30

がんサロン

対象：がん患者・ご家族

(13:30～13:45
管理栄養士ミニ講座)

ケア製品展示

栄養補助食品・口腔ケア
アピアランスケアなど

適宜個別相談に対応しております。

気になることがありましたら、
お気軽にスタッフにお声がけください。

開催日時： 10月6日（火）11:00～14:00

10月7日（水）11:00～14:30

場 所： 川崎医科大学附属病院
本館2階セミナー室（患者図書室横）